

石窯作り プロジェクト

みんなで
おいしいピザや、
パンを食べよう！



石窯がほぼ完成しました！

石窯をつくろう、と思い立ったのは昨年秋。
秋のツアーでそんな話になりました。
今年の6月に総会をかねて春のツアーを企画（右面に報告）。
春は田植えで忙しいだろうから、石窯づくりもまだ手がつけられないかも、と思っておりました。
ところが一足早く大石田入りをしていたメンバーから、「石窯ができてる…」との連絡が！「聞いてないよ」状態で、大石田へ。
思ったよりずっと立派な石窯が出来上がっていました。
確かに我々が手伝って作れるようなレベルの窯ではありません。
海藤さんが出来上がりを楽しみに、窯づくり名人(?)のブルーノさんや、ちょっと様子を窺いに来た田中さんや近くの人たち、友人たちが手伝ったりして完成させたものでしょう。ツアー一行は、石窯の囲いのペンキ塗りをお手伝い。ログハウスに石窯はよく似合います。
皆様からのカンパも材料費の一部に充当させていただきました。
焼きたてのピザやパンを楽しみに、秋にはまた大石田に行きましょう！（久保田）



ブルーノさんも駆け付けて、
みんなで集合写真を撮りました。

<その後届いた海藤さんからの便り>

6月29日、おいしいピザがやけたぞー。

4月の末から始めた石窯作り。ついに完成したのですが。初窯は、6月13日とっても暑い日でした。700℃以上にもなる石窯です。汗が流れてビールがうまい。みんなもどうぞ食べににおいて、パンもやけましたよ。たくさんのカンパありがとうございました。みなさんのお蔭で完成することができました。これからは子ども達や村の人を集めてピザ、パン教室を年4、5回やれたらなあと思ってます。夏の暑い時はちょっと大変だ。

ツアー&総会報告！

2010年6月4・5日

駒籠の会員、海藤さんご夫妻、田中さん、ブルーノさん、
東京からの参加は、小林さん夫妻、久保田さん、馬場夫婦

- ◆4日の夜、コロボックルで2回目の総会を開催しました。全議案が承認されました。
- ◆そのあとは恒例の交流会。

6月初めの駒籠はまだストーブが必要な気温でした。
海藤さんの奥様の温かい手料理をいただきながら、話題は、大石田のまちおこし。
どうしたら、もっと人を呼び込むことができるのか。
地元の駒籠小学校が廃校になることになって、その跡地をどう活用するのか。
有効な活用方法についてのアイデアがああだ、こうだと・・・いろいろ出されました。
大石田町の税制問題、町政の話など、話が尽きることなく続きました。
過疎の問題は日本に共通する課題であることを実感。
都会と地方との交流というきれいごとでは
すまされない現実があることも感じました。
大石田の自然の素晴らしさや豊かさを
自分達だけで堪能するのではなくて、
もっともっとたくさんの人に広めていきたい
と思います。



夜ご飯のおもち。みんなでもちつきをしました。
もち入り芋煮、海藤さんの奥様手作りのずんだの
美味しさに皆感動。
心もお腹もいっぱいになりました。

7月25～27日、
家族でコロボックルに泊りました。
「暑い時は大変だ～」という海藤さんに頼みこんでピザを焼いていただきました。火起こし3時間、焼く時間はたった2分という手間暇かかった石窯ピザの味は最高でした。
ありがとうございました。
また、秋にぜひ！（馬場）

